予算常任委員会

平成20年6月17日午前9時から第1会議室で開かれた。

1. 出席委員

◎木澤 正男	○浦野 圭司	宮崎 和彦
伴 吉晴	嶋田 善行	木田 守彦
中川 議長		

2. 理事者出席者

町 長	小城 利重	副 町 長	芳村 是
教 育 長	栗本 裕美	総 務 部 長	池田 善紀
総 務 課 長	佐藤 滋生	企画財政課長	面卷 昭男
住民生活部長	西本 喜一	福 祉 課 長	西川 肇
国保医療課長	植村 俊彦	環境対策課長	乾 善亮
都市建設部長	清水 建也	建 設 課 長	加藤 保幸
都市整備課長	藤川 岳志	上下水道部長	谷口 裕司
上水道課長	佃田 眞規	会 計 管 理 者	浦口 隆
教委総務課長	野崎 一也		

3. 会議の書記

議会事務局長	藤原 伸宏	同 係 長	峯川 敏明
--------	-------	-------	-------

4. 審査事項

別紙の通り

開会（午前9時00分）

署名委員 嶋田委員、 木田委員

委員長 おはようございます。定刻になりまして全委員出席されておりますので、ただいまより、予算常任委員会を開会いたします。

それでは、本日の会議を開きます。

はじめに、町長の挨拶をお受けいたします。 小城町長。

（ 町長挨拶 ）

委員長 それでは、本委員会の会議録署名委員を私より指名いたします。

署名委員に、嶋田委員、木田委員のお二人を指名いたします。両委員にはよろしく願いいたします。

それでは、審議に移らせていただきます。

本日の審査案件は、お手元に配付しておりますとおりでございますので、レジメに沿って進めてまいりたいと思います。

はじめに、1. 本会議からの付託議案についてであります。

（1）議案第32号、平成20年度斑鳩町一般会計補正予算（第2号）についてを議題と致します。

理事者の説明を求めます。 面巻企画財政課長。

企画財政 課長 それでは、議案第32号、平成20年度斑鳩町一般会計補正予算（第2号）についてのご説明を申し上げます。

まず、議案書を朗読させていただきます。

（ 議案書朗読 ）

企画財政 課長 今回、予算補正をお願いしております内容につきましては、前回の委員会におきまして一定のご説明をさせていただきましたが、本日、補正予算書を提出しておりますので、再度、補正予算書に従いまして、

簡単にご説明を申し上げます。

恐れ入りますが、補正予算書の6ページをお開きいただけますでしょうか。まず、歳入からご説明をさせていただきます。

はじめに、第17款寄附金、第1項寄附金、第1目寄附金では、第2節の福祉費寄附金で、去る4月7日に福祉基金へのご寄附をいただきましたことから、5万円の追加補正、また、第3節の教育費寄附金で、去る5月3日から6日に開催いたしました「史跡藤ノ木古墳石室特別公開」の際に藤ノ木古墳整備基金への募金をいただきましたことから、6万円の追加補正を行うものでございます。

次に、第20款諸収入、第5項雑入、第5目雑入では、第6節の雑入で、消防団員2名の方の退職に伴いまして、消防団員等公務災害補償等共済基金から、その退職報償金の受け入れとしまして121万3千円の追加補正、また、今年度実施を予定している「西岡常一棟梁生誕100年記念事業」につきまして、財団法人地域活性化センターの「活力ある地域づくり支援事業助成金」の要望を行っていたところ、採択決定を受けましたことから、50万円の追加補正を行うものでございます。

続きまして、歳出のご説明を申し上げます。7ページをご覧くださいませでしょうか。

はじめに、第2款総務費、第1項総務管理費、第6目の企画費では、「活力ある地域づくり支援事業助成金」の採択により、50万円を財源ふりかえするものでございます。次に、第3款民生費、第1項社会福祉費、第1目の社会福祉総務費では、第25節の積立金で、歳入でご説明申し上げました福祉基金への寄附金を、福祉基金に積み立てさせていただきますことから、5万円の追加補正をお願いするものでございます。8ページをお開きいただけますでしょうか。第8款消防費、第1項消防費、第2目非常備消防費では、第8節報償費で、消防団員2名の方の退職に伴う退職報償金を支払うため、121万3千円の追加補正をお願いするものでございます。次に、第9款教育費、第5項社会教育費、第4目文化財保存費では、第25節の積立金で、歳入の

ところでご説明申し上げました藤ノ木古墳整備基金への募金を、藤ノ木古墳整備基金に積み立てさせていただきますことから、6万円の追加補正をお願いするものでございます。9ページにお移りいただきまして、第12款予備費では、今回の予算の補正から生じました財源50万円を、予備費に留保させていただくものでございます。

それでは、1ページにお戻りいただけますでしょうか。

予算書を朗読させていただきます。

(予算書朗読)

企画財政
課長

以上、簡単ではございますが、議案第32号、平成20年度斑鳩町一般会計補正予算(第2号)につきましてのご説明とさせていただきます。何とぞ、温かいご審議をたまわり、原案どおりご可決いただきますようお願い申し上げます。

委員長

説明が終わりましたので、質疑をお受けいたします。

ございませんか。

(な し)

委員長

それでは、これをもって、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。本案については、当委員会として原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長

異議なしと認めます。よって議案第32号については、当委員会として満場一致で可決すべきものと決しました。

次に、2. その他についてを議題といたします。

委員の方から何か質疑、意見等がございましたらお受けしたいと思います

いします。 木田委員。

木田委員 学校関係の何やねけど、給食費なんですねけど、一応予算でみてはった給食費の補助ちゅうんですか、町からの。それは、今のところどれぐらい予算がこう狂てんのかですね。そしてまた、これが9月でしたかな、なんかそれ以後また小麦とか粉類の値上げによって麺類とか色んなもんがこう値上がっていくということで、この給食費の見直しとかなんかはこれ天理かどっかで給食費を見直すとかいうような話出てますねけど。斑鳩町の場合それはしなくてもまあ予算は少々狂ても大丈夫なんですか。

町 長 予算が狂うとか狂わないとかいう問題よりも、天理とか奈良市は給食費を値上げをするということで発表されてますように、当町もそれは当然そういう影響はあると思いますけれど、今年度は努力をいただいでですね、とにかく木田委員がおっしゃるように値上げが予測されるであろうとおっしゃいますけれども、できるだけそういうなかで質の落ちない、そういう形でやっていただきたいということで今現在取り組んでますので、補正とかそういう問題よりも、結局、給食を値上げするのか、値上げしないのかという問題になってこようと思います。今現状は、今年度はこのままでいきたいということでございます。

木田委員 それは結構なんですねけど。そして今までからも色々と地産地消とかいう話が出てたと思いますねけども、斑鳩町の給食なんかでは、地産地消で地元からそういう何をいただいでですね、それで安ういけてるといふんか、そういうことにはなっておるんですかな。なっておらないですか。

教委総務課長 今、斑鳩町内での地産地消ということで、値段的なものよりも、斑鳩町内で生産された作物につきまして、新しい物を、生の物を児童に食べていただくということが本来の姿ではないかなというふうに考え

ています。よろしくお願いいたします。

委員長 浦野委員。

浦野委員 財政難の折ですね、ふるさと納税というのが報道でも報じられて実行に移しておられる自治体もあるんですけども。斑鳩町の場合は、どのようにお考えですか。

企画財政課長 ふるさと納税につきましては、今後、本町におきましては、本町の資源を活かしながら町ホームページ等で情報発信を行ってまいりまして、その対応に努めてまいりたいと考えております。

委員長 ほかにございませんか。

そしたら、すいません。先ほど木田委員から給食費のことで予算に関してご質問があったんですけども、今6月からガソリン、原油が高騰続いてまして、ガソリンもいっきに値上がりをしたということで、当初予算の際にもこの原油の高騰について心配されていた声がありますけれども、今の状況として町はどのようにみられているのか、お尋ねしておきたいんですが。 小城町長。

町長 このガソリンの問題等についても、私は朝礼で4月でしたか、5月でしたか、朝礼で極力町内は自転車を活用するようにと。あるいはまた、奈良へ行くときは電車等を利用するようにと、いうことでできるだけ経費を節減するというのは、必ずもう車乗ってたらそれを乗るといことじゃなしに、やっぱりこういう時期ですから、皆それぞれ創意と工夫を凝らしていただいて、冗費節減をすることが一番大事であろうと。当然、予算が150円で組んでるやつが170円になるということは当然のことですから。そこらのところの見解というか、職員の心構え、そういうものについて、できるだけ皆さん方が辛抱されること、町職員からそういうことを示していくことによってそういう冗

費節減できるのではないかと。だから150円が170円になったから、予算的にどうなるということよりも、それはできるだけ150円で抑えていく努力をすることが我々に課せられた使命であろうと思っています。

委員長 町長の方から節約に努めていただいているというふうに報告いただきまして、本当にそれはよくがんばっていただいているというふうに思いますが、当初予算のときに金額1,400万円程度影響を見込んでいるということをおっしゃっておられますので。今の状況ちょっと洗い出したところで、直ぐに数字についてどうこうというのは難しいかとは思いますが、それについてどのように考えておられるか。
面巻企画財政課長。

企画財政課長 平成20年度予算におきましては、施設等にかかる燃料費等を中心に原油価格の高騰を見込んだ予算編成を行っているところでございます。

委員長 そしたらまあ、見込んでいた分で今対応いただけてるということで理解をしておきます。
ほかにございませんでしょうか。

(な し)

委員長 ないようでしたら、その他についても、これをもって質疑を終結いたします。

なお、お手元に配布しております閉会中の継続審査申出書のとおり、当委員会として、引き続き調査を要するものとして、このように決定することにご異議はございませんか。

(異議なし)

委員長 異議なしと認めます。議長におかれましては、継続審査の手続きをとっていただきますようお願いいたします。

これをもって、本日の案件についてはすべて終了いたしました。

なお、本日の委員会報告のまとめについては、正副委員長にご一任いただきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長 異議なしと認めます。

それでは、閉会にあたり、町長の挨拶をお受けいたします。

小城町長。

(町長挨拶)

委員長 これをもって予算常任委員会を閉会いたします。

どうもお疲れ様でした。

(午前 9時17分 閉会)